

平成27年度の主な事業をお知らせします

【総務費】

- ・まちなか再生事業 1,029万円
まちなか再生研究業務委託などに係る経費
- ・森の健康館管理業務 4,817万円
森の健康館の管理運営などに係る経費
- ・体験交流施設整備事業 2,423万円
体験交流施設の内部改修工事、外構工事などに係る経費
- ・町史編さん経費 1,250万円
町史編さんに係る経費

【民生費】

- ・子ども・子育て支援事業 1億1,467万円
認定こども園運営費、子育て支援センター事業などに係る経費
- ・児童手当扶助費 4,912万円
児童手当費（町受給者分）などに係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成 1億円
住民の健康を守る地域医療を維持確保するため津別病院に助成
- ・ごみ焼却施設管理経費 2,825万円
一般廃棄物広域処理事業負担金などに係る経費
- ・一般廃棄物最終処分場管理経費 4,355万円
一般廃棄物最終処分場施設管理などに係る経費
- ・下水道事業特別会計繰出金 2億6,317万円
下水道事業特別会計への繰出金に係る経費



森の健康館



4月開園の認定こども園



地域医療の拠点・津別病院

【農林業費】

- ・町有林整備事業 4,249万円
施業計画に基づく造林事業等の実施に係る経費
- ・多面的機能支払交付金事業 3,445万円
多面的機能支払交付金などに係る経費
- ・国営農地再編整備事業推進事業 1,597万円
国営農地再編換地業務などに係る経費

【土木費】

- ・町営住宅等建設整備事業 1億555万円
まちなか団地（Ⅲ工区）建設工事などに係る経費
- ・町道整備事業 4,152万円
町道108号線改良舗装工事などに係る経費
- ・橋梁長寿命化修繕事業 4,610万円
中線橋、外6橋の橋梁長寿命化補修工事などに係る経費

【消防費】

- ・事務組合負担金 2億2,990万円
美幌・津別広域事務組合 津別消防費などに係る経費

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 1,323万円
津別高校振興対策（バス通学費、校納金、教科書等の助成、津別高校振興対策協議会への交付金）などに係る経費
- ・多目的運動公園整備事業 2,928万円
サッカー・ラグビー場天然芝改設工事などに係る経費



愛林のまちなかの木材資源



津別高校振興対策を継続



多目的運動公園

平成27年度 町政方針（抜粋）

まちなかをロマンチックなエコタウンに

3月4日から始まった定例町議会において、平成27年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介します（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

公約の推進

① 第1次産業の振興につきましたは、本町の基幹産業である農業において、本年度から10年間に亘って実施予定の国営農地再編整備事業により、経営基盤をより確かなものにして参ります。

② 林業につきましたは、森林バイオマスによる再生可能エネルギーの利活用を図るとともに、森林認証や加工・流通過程の管理認証の取得に対する助成を行い林業の振興を図って参ります。

③ 少子化・高齢化社会への対応につきましては、4月に開園する認定こども園の利用料を軽減するとともに、給食費を無料とし子育てを支援して参ります。また、若者や高齢者が安心して住める住宅の建設を引き続き行つとともに、町民の憩いの場として自然運動公園一帯の再整備構想を

元に、具体的な一歩を踏み出して参ります。

④ 中心市街地の活性化につきましたは、人口減少と少子化・高齢化による中心市街地の急速な衰退に伴う市街地機能の低下と、地域活力の減退など様々な課題に対し、市街地機能の維持保全、環境改善、施設整備、交通網の形成、地域コミュニティの再生、人材の育成など、まちなかの再生と持続可能な施策の調査研究を行うため、ラグビー合宿で交流のある筑波大学と次代を担う方々とともに「まちなか再生事業」に取り組んで参ります。

⑤ 自治会と集落の活性化につきましたは、日頃より町づくりにご協力をいただいている自治会の皆さんの普段の活動の中で、自らが住む自治会内の環境整備や、共同で使用する施設の修繕を行うなどの取り組みに対する支援について、自治会と協議し制度設計を進めて参ります。

また、活汲小中学校、本岐小学校、相生小学校の跡利用につきましたは、現在それぞれ計画づくりを進めているところですが、地域の活性化に結びつくよう努めて参ります。

⑥ 老朽化したインフラの再整備につきましたは、現在、計画に基づき実施

している道路と橋梁の改修を進めるとともに、上水道と下水道施設の長寿命化を進めて参ります。住宅建設につきましたは、見直し後の住生活基本計画に基づき、引き続き建て替えを進めて参ります。また、中心市街地活性化の一環として複合施設の建設について、先の「まちなか再生事業」と連動させて取り組んで参ります。

⑦ もつたない地域資源の活用につきましたは、合宿チームから評価の高いラグビー場をPRし、東京オリンピックやラグビーワールドカップの合宿誘致を進めて参ります。また、町内の産物を活かした特産品のレパートリー拡大を支援して参ります。

地域振興

人づくりの推進につきましたは、協働のまちづくりを進める上で、地域の人材を育成することは、まちづくりの基本を成すものであり、「人づくり・まちづくり活動支援事業」による支援を行い、各般に亘る研修や交流事業などを合わせ、次代を担う人づくりに取り組んで参ります。

花のまちの推進につきましたは、引き続き花のまち推進協議会やフラワーマスター連絡協議会などと連携しながら、樹木を含めた花を活かした景観づくりに取り組んで参ります。

宿泊施設に係る指定管理制度の活用につきましたは、昨年度に整備しまし

た体験交流施設は、指定管理者の選定を行い「みいとインフット」として順調に営業を開始したところです。

行政改革と機構改革

平成22年3月に策定の「津別町新行政改革大綱推進計画（改訂版）」は、前期5年間のアクションプラン55項目の検証結果に基づき、本年度から始まる後期5年計画を実施して参ります。後期計画は、大綱に掲げる9つの戦略方針に従い、前期計画から引き継ぐ課題と到達目標を見定めたものとして策定され、特に総合計画に掲げる基本構想の実現と計画事業及びプロジェクトに基づきまちづくりを着実に進めていくための行政組織づくりに重点を置き、地域経済の活性化と持続可能な行政経営を進めるための計画として位置付け、着実に実践して参ります。

予算規模と財政運営

本年度の一般会計予算の総額は、前年度比14・9%減の46億8千6百万円となりましたが、これは主に認定こども園建設事業関連経費の減によるものであります。今後、人口ビジョンを見据えながら、地域経済の活性化、雇用、教育、医療、福祉、防災など数多くの行政課題に取り組むこととなりますが、「まちなか再生事業」と連動させながら持続可能なまちづくりを進め、効率的な行政運営に努めて参ります。